

# KLIS TODAY

No.  
30

## 筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

〒305-8550 つくば市春日 1-2 Tel 029-859-1110 Fax 029-859-1162  
URL <http://klis.tsukuba.ac.jp/> E-mail [klis-info@inf.tsukuba.ac.jp](mailto:klis-info@inf.tsukuba.ac.jp)

### 2016 年大学説明会を終えて

市村 彩也香

今年の大学説明会も例年同様、多くの生徒及び保護者の方にご来場いただきました。ありがとうございました。

本学類は「どのようなことを学ぶのか」という質問を受けることが多い学類です。これに対して答えるべく、学類長による教育課程の説明・入試の説明や先生による模擬講義、オープンラボを行いました。また、パネルディスカッションや相談コーナーを通して、できるだけ学生の生の声を届けられるように考えました。今年度は図書館に興味のある方に向けた新企画として「知る見る図書館」を実施した他、例年同様大学の施設を回るキャンパスツアーや学生生活の様子を収めた映像の放映・資料展示などを行い、本学類について様々な観点から知っていただけるように努めました。

新企画を行ったこともあり全体的に慌ただしい大学説明会になりましたが、スタッフや先生方の協力もあり何とか運営することができたと思います。今後は来場者の方から回収したアンケートなどをもとに、よりよい大学説明会を作っていきたいと思います。

(いちむら・さやか 知識情報・図書館学類 2 年次)



# 図書館についての興味関心を引き出そう

廣瀬 智鶴

私は今回の大学説明会において、新企画「知る見る図書館」の企画や運営を中心になって行いました。今までの大学説明会では、図書館に焦点を当てた企画がなかったことから、図書館に興味がある高校生やその保護者の方に、より興味をもってもらおうという目的がありました。準備期間が少なく、思ったようなことがなかなか出来ずに苦労した部分も多々ありましたが、協力して頂いた多くの方のご支援で成功させることが出来ました。

企画にあたって考えたことは、高校生が知らないようなことをお伝えしようと思ったことです。この知識情報・図書館学類の大学説明会に来ていただけるような方々なので、図書館について詳しい人もいると思いました。そのような人達が知っていることを伝えても企画の意味はないので、よりコアな部分を知っていただけたらいいなと思いました。

この企画は2つのコーナーで成り立っています。図書館に関するスチューデントトークとビブリオバトルです。図書館に関するスチューデントトークでは、筑波大学の図書館の紹介や映画のロケ地となった図書館や今話題の図書館なども紹介していただきました。高校生が熱心に聞き入っていたのを見て、とても嬉しく思いました。ビブリオバトルは、本来勝者を決めるものですが、時間の都合上省略して、学生のおすすめの本のプレゼンを見てもらいました。ビブリオバトルを知らない人も結構いらっしゃり、こういうものもあるのだと知ってもらえてよかったと思いました。



当日は、私達が予想をしていた以上の方にご覧いただき、驚きもありましたが、とても嬉しかったです。なかなかこういった企画の運営に携わることはなく、自分自身とても良い経験になりました。この企画に関しては多くの課題や反省点があるので、来年度に活かし、よりよい企画にするように努めていきたいです。

(ひろせ・ちづる 知識情報・図書館学類2年次)



# スチューデントトーク

村松 ななみ

スチューデントトークという企画では、本学類の学生が「学生の目線・立場から」、入学試験や学生生活について発表しました。私は僭越ながら進行役を務めさせていただきました。

入学試験に関しては「一般入試」と「AC・推薦入試」と、大きく二つに分け、一般入試は春日講堂、AC・推薦入試は教室（7A205）にて発表を行いました。それぞれの試験の主な要項のほか、科目ごとの対策、どのような心持ちで試験に挑むべきか等、盛りだくさんの内容でした。特に、AC・推薦入試は通常の学力試験と異なる点（どのような試験が行われるのか、受験に必要な要件、とるべき対策等）を丁寧に説明していて、多くの受験生が興味深そうに聞いていました。

学生生活に関しては、「宿舍暮らし」、「アパート暮らし」、「自宅通学」の三つの生活形態について発表がありました。各生活形態のメリットやデメリット、選んだ理由、食事やお風呂の事情等、受験生だけでなく保護者の方も気になるであろう情報ばかりの発表でした。受験生に入学後の生活をイメージしてもらえるような、有意義な時間になったのではないのでしょうか。

企画全体を通して、受験生のモチベーションを上げるような内容を提供することができたと思います。発表を引き受けてくださった学生の方々には心から感謝いたします。発表者の中には自分のツイッターのアカウントIDをスライドにのせている人もいて、「さすが情報学群」という印象を抱きました（そのおかげで、時折ツイッター上で受験生の方から質問が送られてくるそうです。嬉しいです）。

発表の内容そのもの以上に、発表者のまとう雰囲気、発表者同士の会話の様子も、受験生が「知識情報・図書館学類を知る」という意味では重要なものですが、その点においてこの企画では、本学類独特のどこかほのぼのとした、穏やかな雰囲気を伝えることに成功したと思います。受験生の方もしくはその保護者の方のお役に立てたら幸いです。

（むらまつ・ななみ 知識情報・図書館学類1年次）



## 意欲溢れる相談員たち

三浦 真帆

8月に行われた知識情報・図書館学類大学説明会では、総勢30名弱の相談員達が説明会に来た高校生の相談を受けました。相談コーナーでは、相談員達の入試区分、住居形態、文理など様々な項目をあらかじめ把握しており、相談者に合った相談員を紹介します。主に1年生が多い相談員達は自分も通ってきた道だからこそ、相談者の気持ちに寄り添い、役に立つ答えを出すことが出来ます。

当日は相談者がひっきりなしに訪れ、大変賑わいのあるブースとなりました。人によっては1時間以上話し込む様子もみられました。相談コーナーでは、高校生と話がしたい相談員達が身を乗り出して待っています。何を相談するか決まっていなくても構いません。来年の大学



説明会にいらした際はぜひ相談コーナーに足を運び、知識情報・図書館学類の雰囲気を感じてみませんか。もちろん保護者の方々の相談也大歓迎です。

(みうら・まほ 知識情報・図書館学類1年次)

## 映像制作について

雪田 優華

私は大学説明会に向け、知識情報・図書館学類生の一泊、そして図書館情報学図書館について紹介する動画を制作、上映しました。

知識情報・図書館学類生の一泊では、ドラマ仕立てで本学類生の一泊を追うことに加え、実際の学生たちの声を元にした「klis あるある」も交えながら、授業や生活の様子を伝えました。学生たちがどのように過ごしているのか、知っていただけたかと思います。

もう一方の動画では、本学類生にはなじみの深い図書館情報学図書館について紹介しました。簡単な説明のテロップを入れるなどの工夫をし、興味を持ってもらえるような映像ができたと思います。

これらの映像は、委員で7月中に撮影・編集しました。予定通りに進まないこともありましたが、委員をはじめとする様々な方のご協力のおかげで、無事完成することができました。現在、2本の映像をまとめて1本にして、YouTubeで配信中です。どうぞ、ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=uCjpwEl4UMk&feature=youtu.be>

(ゆきた・ゆうか 知識情報・図書館学類1年次)

# 情報リテラシ実習の プレゼンテーション発表会

情報リテラシ実習は、コミュニケーション力の向上を目的とした授業で、1年次の学生が春C学期および秋ABC学期に履修しています。春C学期はビブリオバトル、名刺作成、大学内のおすすめスポット紹介などをとおして、様々な状況に対応できるコミュニケーション力を養いました。また、個人ではなくチームとしてテーマを考え、それについて調べてポスターを作成し、プレゼンテーションする実習も行いました。そのプレゼンテーション発表会（2016年8月3日）の様様を紹介します。



ポスターの準備をする学生たち



いよいよプレゼン開始



実物を見せながらプレゼン



発表に聴き入る学生たち

## 知識情報演習Ⅰ 優秀作品賞

今年度は浅川瑞貴さん、小邦将輝さん、小林滉河さん、谷口正樹さんの4名に「知識情報演習Ⅰ 優秀作品賞」が贈られました。この演習は2年次必修科目で、図書を対象とした書誌レコードの作成およびその検索システムであるOPAC (Online Public Access Catalog) の構築を行います。

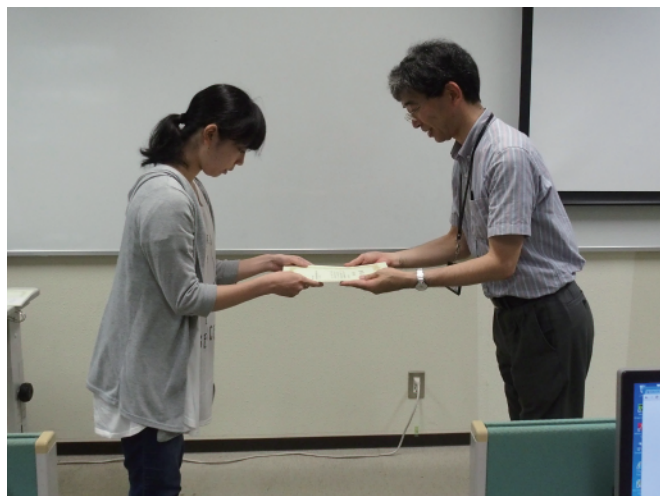
浅川 瑞貴

今回のOPAC作成では、少ない知識と時間の中で、できる限り良いものが作れるよう努力しました。必須要件を満たした後は、与えられた条件をできる限り満たせるように、これまで学んだことやインターネット等で調べたことをかき集めて取り組みました。

工夫した点は、講義中に示された例では質素だったデザインを、少しでも見やすく使いやすいものになるよう変えた点です。この課題に取り組むまで、“CSS”、“JavaScript”という言葉すらよく分かっていませんでしたが、調べたばかりの拙い知識を使い、納得のいくものになるよう工夫しました。

上級とされていた条件までは満たせませんでしたでしたが、試行錯誤しながら少しずつ機能を付け加えていく作業は楽しかったです。

(あさかわ・みずき 知識情報・図書館学類2年次)



左：学類長から表彰状授与

下：(左から) 浅川瑞貴、小林滉河  
小邦将輝、谷口正樹



小邦 将輝

私はOPACを作成するにあたって「また使いたいと思えるシステムを作ること」を重視しました。具体的には、処理の高速化を行うためにプログラムの処理効率を考えたコーディングを行いました。また、見やすいページとはどのようなものかを考え、CSSのコーディングを行いました。とりわけ、スマートフォンやタブレットからのページ閲覧を想定し、スマートフォン対応ページを作成したり、検索文字の入力を音声認識によって行えるようにしたりしました。

自らが作成したシステムを優秀賞に選んで頂けたことは、私にとって大きな自信になりました。しかし、利用者がまた使いたいと思えるシステムを作ることが出来たのかはわかりません。今後、開発を行う際には、作ったら終わりではなく、実際に利用者の意見を取り入れて、システムの改良を行いたいと思います。

(おぐに・まさき 知識情報・図書館学類3年次)

小林 滉河

作品の内容:全てのカラムからキーワードを探すことができるテキストフィールドと各カラムのみを検索するテキストフィールドを表示させ、それらの情報をGETで送るような形で検索機能を実装しています。

工夫した点:ruby on railsというWebフレームワークを使って実装したこと、gitでソースコードの管理を行ったこと、デプロイをしてWeb上に公開したことです。

感想:何気なく利用している筑波大学のOPACやCiNiiがどれだけ優れているかを身を持って経験し、あれらのサービスがどのように作られているのかとても気になりました。今回の演習では自分の未熟さを痛感しましたが、それ以上にプログラミングが好きになりました。これからも大学の講義をしっかりと聴き、勉強していきたいです。

(こばやし・こうが 知識情報・図書館学類2年次)

谷口 正樹

OPACを自力で作成するという今回の課題を最初に聞いたとき、「大学からプログラミングを始めた初心者の自分が完成できるはずがない」と思いました。しかし、テキストを愚直に進めていくことで最終的に最優秀賞をいただけるようなシステムが作れたことは大きな自信に繋がりました。

今回の開発で自分が最重視したのは与えられた要件を不足なく満たす事とシンプルなデザインを実現する事でした。様々な大学や図書館のOPACを参考に実装する機能を考えていた際、多機能なOPACは検索の際に入力すべき場所が多く、分かりづらくなりがちであると感じ、今回の課題ではGoogleなどの検索エンジンやAmazonやcookpadなどのデザインを見ながらボタンやエントリの個数をなるべく減らす方向でデザインしました。

結果として、内部の実装よりも履歴の表示方法やページネーションなど、見た目の部分の開発に時間を使ってしまい、機能など詰め切れなかった部分もありましたが、大変良い経験になりました。今後もこの経験を活かし、より良いものを作っていきたいと思います。

(たにぐち・まさき 知識情報・図書館学類2年次)

# 学類誌 MILK 編集部

## 研究室紹介号を発行しました

彼島 瑞生

私たち学類誌 MILK が発行している特別号、研究室紹介号はご存知ですか？ これは昨年度より始まった企画で、私たちが取材をして記事を書く通常号とは違い、研究室を持つ先生に原稿の執筆を依頼し、いただいた原稿を冊子体にまとめて配布します。そのため、先生方の個性が分かりやすく出ています。研究室を選ぶにはもってこいなのではないでしょうか。

その前に、研究室配属の流れが分からないという方もいるかと思います。研究室配属の流れは3年次の秋学期から始まります。10月初めに各研究室の卒業研究指導方針が発表され、それを参考にして進みたい研究室の候補を出します。10月中旬になるとそれに従って先生と1対1で個別面談をし、その研究室が本当に自分の希望と合致するのかをじっくり考えます。10月の終わりにから11月の初めにかけて、希望する研究室の登録期間が設けられ、その後研究室配属が発表されます(今年度は11月9日)。

研究室を選ぶとき参考にしたいのは、平常時の講義、2年次の7月末にある主専攻説明会、3年次春学期の主専攻実習、先ほど説明した個別面談といった機会です。それから先生の著作や論文に触れたりしてみるのもいいかもしれません。希望研究室登録の前にはKLC(春日ラーニングcommons)で、実際に研究室に入って卒論執筆に取り組んでいる先輩方をお呼びする研究室説明会も開かれます。ぜひ参考にしてみてください。

(かのしま・みずき 知識情報・図書館学類2年次)



Web [http://klis.tsukuba.ac.jp/klis\\_milk/](http://klis.tsukuba.ac.jp/klis_milk/) Twitter @KLISMILK